

本日のプログラム

- 13:30 開会挨拶
- 13:35 第2回ワークショップのふりかえり
- 13:45 グループワーク
- 14:55 グループ発表
- 15:10 愛甲教授からの講評
- 15:20 本日のまとめと今後の流れ
- 15:30 閉会

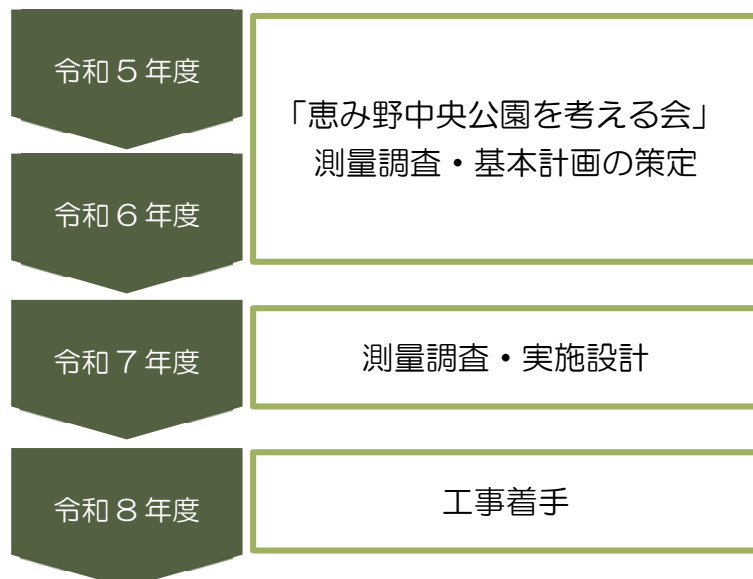


事業説明

本公園は、公園開設から約40年が経過し、施設の老朽化や社会環境の変化に対応した公園の役割や機能の見直しを考える時期を迎えています。

地域にお住いの皆さまが集まり、これからの恵み野中央公園のあり方について、基本的な考え方や施設改修方針などをまとめていきます。

▼事業スケジュール



ポイント

1. ワークショップとは

ワークショップとは、参加者全員が公園について考え、意見を出し合い、わからないことは助言を受けながら、自分たちの公園を自ら形づくっていかこうとするものです。

今回についても、多くの皆さんが恵み野中央公園の改修内容や管理・運営について、アイデアを出しあい、協働で作業することで、より地域に根ざし、親しまれる場所となり、未永く利用していただけるのではないかとこの観点から開催されます。

また、参加者が意見を出しやすいように、少人数のグループに分かれて進めます。

2. 恵み野中央公園について

恵み野中央公園は、恵み野地区の中心を南北に貫くように位置する総合公園です。

中央部に位置する大きな池と水路が特徴的で、野外音楽堂、野球場、庭球場などを備えており、開設から約40年が経過した今もなお地域住民に親しまれる場所です。

一方で、経年劣化による施設の老朽化や、過密な樹木による暗がりや死角など、魅力の低下が危惧されています。

【面積】約11.1ha
【開設】昭和59年



問い合わせ先

恵庭市 建設部 公園緑地課 担当 江田
TEL33-3131

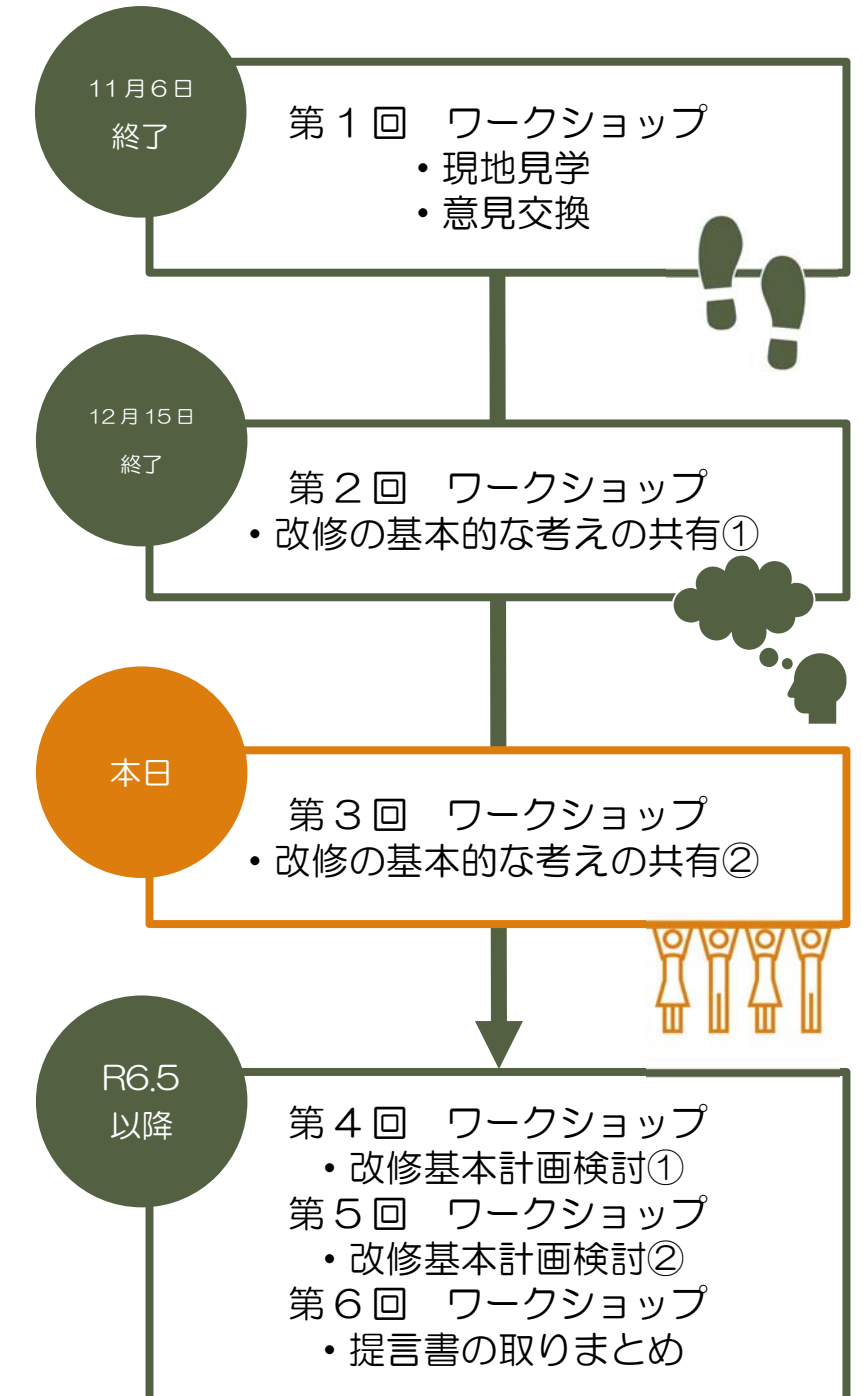
(株)環境緑地研究所 担当 太田、工藤
TEL(011)221-4101

恵み野中央公園を考える会

～第3回 恵み野中央公園ワークショップ～

日時：1月25日 13:30～15:30
場所：恵み野会館

ワークショップのスケジュール



第2回ワークショップで話された各グループの中間発表の内容と本日の主な話し合いについて



A 班

【公園全体の考え方】

- 生活と文化に根ざす
- 持続可能⇒日常の人の流れが公園を良くする
- 防災に生きる取組み
 - ⇒地域が日常的に利用することで防災時に役立つ
- 公園の広さを活かしたゾーニング（施設配置）
- アクセスを容易にする⇒スロープ化など

【対象利用者】

- 地域住民（市民）&観光客
 - ⇒地域（市民）が誇れる場所
 - ⇒集まりたくなる公園・防災機能を兼ねた公園
- ほどよく周辺の地形に囲まれた良い空間。

【北側エリアのイメージ】

- 公園の象徴となる場所（観光名所）
 - ⇒“恵み野の泉”→公園維持管理費の軽減化
- 地域の催し賑わい広場⇒日常的な利用と災害時の避難場所

【南側エリアのイメージ】

- 築山付近
 - 隣接して飲食できる・買える場所⇒ゆっくり滞在できる場所
 - 高齢者の人たちが散歩途中で“小休憩できる広場”など
- 旧ゲートボール場
 - いろいろな利用ができる“多目的広場”
 - 災害時には“みんなの避難”となる広場
- 市道沿い（アナベルロード）
 - “たくさんの生き物を観る”ことのできる広場
- 園路沿い周辺
 - 次世代につなげる“木立の広場”

A 班の本日の主な話し合いは・・・

- エリアやゾーンの掘下げ
- 具体的な空間イメージやアイデア出し



B 班

【公園の位置づけ】

- 公園全体を見ることが大事
- 公園利用者⇒地域（恵み野）の利用がメインでは

【“はなふる”との関係】

- “はなふる”は市外からも多くの人が来訪
 - ⇒中央公園にも魅力・特長が出せれば、
 - ⇒恵み野地域を歩いて楽しむ。回遊性と相乗効果

【北側エリアのイメージ】⇒アクティブなイメージ

- やりたい！を持ち込める
- 子どもに特化した場所
 - ⇒プレイパーク、遊具を作らない・泥遊び
 - ⇒近くには駐車場が必要 元遊具広場を駐車場に
- 野外音楽堂
 - 音楽専用な施設でなくても良い
 - ⇒小規模でも観客が聞ける空間・場所
 - ⇒演奏の規模・内容に合わせて使える多目的スペース

○ 壁泉部分

- 現状は修景的・景観的な機能も有している
- 子どもたちの水遊び場として特化・特長付けしてはどうか

【南側エリアのイメージ】⇒文化（学び）のイメージ

- 学び⇒SDGs、池と生き物、環境学習
- 池の存在は大切
- 図書館との連携
 - “公園との相互利用は効果が高い”
 - 図書館と音楽 文化活動の集約化
 - ⇒ストリートピアノの設置 カフェスペース
 - ⇒トイレ施設の共有
 - ⇒図書館側にも連携方法を考えてほしい

B 班の本日の主な話し合いは・・・

- 改修に向けた基本的な考え方の掘下げ
- 具体的な空間イメージやアイデア出し



C 班

【エリア分け】

- 南北エリアで分けるのは距離が遠いので行けない
- 学区が分かれており、現状では行き来が出来ない
 - ⇒従来の決まり事を見直す必要がある
- 公園の広さを活かしたゾーニング（施設配置）
- トンネルが暗くて連続性が断たれている

【北側エリア】

- 遊び・スポーツ
 - 幼児向け遊具
 - アスレチック・バスケット（ストリートバスケット）
 - ⇒付近にはトイレ・水飲台
- その他
 - RBP 宿泊機能の補完
 - 近隣商業施設との連携
 - 何かしらの中核施設や賑わいの空間
 - ⇒人が集まったり、常駐することで防犯効果が高まる

【南側エリア】

- 遊び
 - 春遊びーハンモック・木登り
 - 夏遊びー噴水・水場（水遊び）⇒池から水路をつくる
 - 秋遊びー実りの森（ドングリ・クルミ）
 - 冬遊びー遊具に頼らない遊び 大きな築山
- 池・庭園
 - リスクがある（溺れる）一方、風情がある
 - 大きさが中途半端 観賞するには施設が不十分
- 図書館
 - “図書館との連携を行い、文化系エリアとする”
 - コンサートや観劇ができる室内施設
 - ⇒大きな声が出せる

C 班の本日の主な話し合いは・・・

- 改修に向けた基本的な考え方を整理
- エリア・ゾーン区分の整理とアイデア出し